

「相模原柴胡の会」活動実績

- ✿ ミシマサイコの育成・栽培
麻溝公園柴胡花壇で栽培
下溝・石碑前柴胡花壇で栽培
モナの丘柴胡育成園で育成・栽培



- ✿ サイコフェア(麻溝公園)の開催
相模原麻溝公園にてサイコフェアを開催
(2017年8月、2018年8月、・・・)

以後、毎年開催しています

- ✿ ミシマサイコ講習会の開催
講習会「相模原市にゆかりの深いミシマサイコの花を知っていますか」を開催
(2018年 3回、2019年 4回、・・・)

以後、毎年開催しています

- ✿ 講習会開催時にミシマサイコの苗及び種を配布して、家庭での栽培を奨励



相模原
柴胡
チャン
ネル



2022.02.01

「ミシマサイコ」って何？

和名 ミシマサイコ (三島柴胡)
学名 Bupleurum falcatum
植物分類 セリ科 ミシマサイコ属

✿ 特長

多年草で茎は細く、草丈は～1mくらいになります。本州・四国・九州の日当たりの良い山野に自生していました(現在は絶滅危惧種です)。

花期は7月～9月で、花は小さな黄色の5弁で、茎に多数の複散形花をつけます。

✿ 薬用植物として

茶褐色の直根に薬効成分(主に解熱・鎮痛作用)があり、生薬名は「柴胡」です。

✿ 相模原市における柴胡

相模原市を含む相模台地の山野には古来より柴胡の群生場所があり「柴胡が原」と云われていましたが、近年は環境変化や薬用としての乱獲などにより見られなくなり、絶滅危惧種となっています。相模原市では「柴胡」と言う言葉は色々な施設などに取り入れられています。また「相模原市民の歌」や各地の小学校の校歌などにも取り入れられています。

✿ ミシマサイコと云う名前

名前の由来は江戸時代に柴胡漢方薬が主に三島宿で集荷・取引されていたことから ミシマサイコの名前がつけました。



「ミシマサイコ」の栽培方法

✿ 苗床に種まき

2月～4月に種まきを行います。鉢かプランタンに種まき用土と少量の肥料をよく混合して入れ、深さ1cm程度の穴にミシマサイコのタネを4～5粒蒔きます。水やりは表土が乾き始めたら行います。

✿ 発芽

1ヶ月～2ヶ月で発芽します。発芽直後は雑草と見間違えることがあるので、注意して雑草を除去します。

✿ 1年目の成長

1年目は花が咲かないので、茎と葉の成長のみで10cm～20cm位になります。置き場は日当たりの良いところに置きます。年末に葉枯れしたら、霜よけを施します。

✿ 2年目以降の成長

地植え又は鉢植えに植え替えを行います。日当たりの良いところに置き、水やりや施肥を適時行います。7月頃には～1m近くなり、その頃になると蕾が出来て、7月～8月に 開花し始め、次々と花が咲くので9月初め頃まで花が楽しめます。

✿ 花が終わり11月頃になると種が出来るので、種を採取します。

✿ 株の寿命は4年～6年と短いので種を採取して、種まきで更新します。